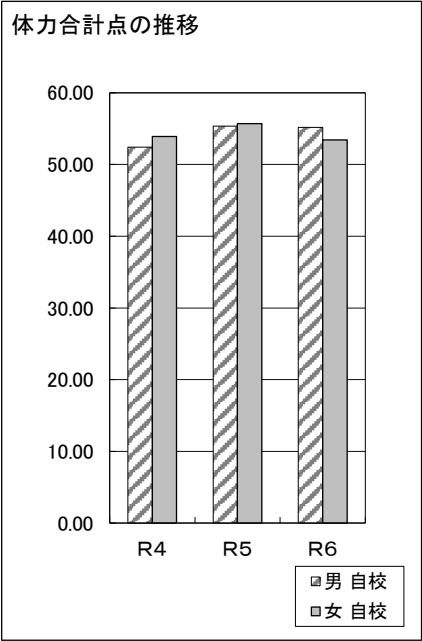
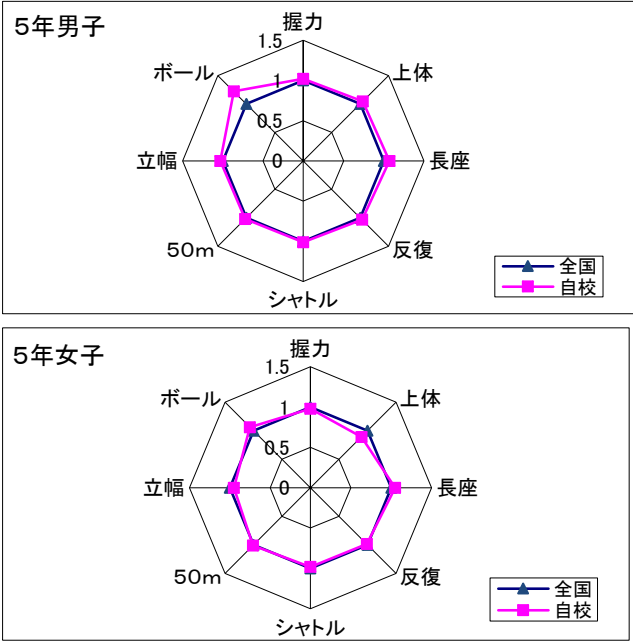


学校名	小17 荘山田小学校
-----	------------

1 自校の実技結果と全国平均との比較

学年	性別		R6平均値								体力合計点		
			握力 (kg)	上体 (回)	長座 (cm)	反復 (点)	シャトル (回)	50m (秒)	立幅 (cm)	ボール (m)	R4	R5	R6
5年	男	全国	16.02	19.19	33.79	40.67	46.90	9.50	150.46	20.74	52.29	52.60	52.54
		自校	16.35	20.07	36.17	42.00	47.44	9.28	155.22	25.32	52.42	55.34	55.18
		比較	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	女	全国	15.78	18.16	38.21	38.71	36.60	9.76	143.18	13.15	54.32	54.29	53.93
		自校	15.46	16.20	40.06	38.20	35.94	9.65	135.86	13.97	53.91	55.69	53.44
		比較	△	△	○	△	△	○	△	○	△	○	△

※全国平均以上の種目…○ 全国平均未満の種目…△



2 重点種目の結果についての分析

呉市の重点種目	中学校区の重点種目 ※義務教育学校は、自校の重点種目	自校の重点種目 ※義務教育学校は、前期課程の重点種目
50m走	ソフトボール投げ	反復横とび
〈成果と課題〉 ・男女共に全国平均値を上回ることができた。 ・50m走路を常設したり、くれチャレンジマッチスタジアムのダッシュリレーへの定期的な参加を推奨するなど、走る運動へ取り組む環境を整えたことが効果的だったと考えられる。	〈成果と課題〉 ・男女共に全国平均値を上回ることができた。 ・中学校の生徒に小学校の陸上教室へ参加してもらったり、大谷グローブを休憩時間に貸し出したりするなど、楽しみながら取り組む環境を整えたことが効果的だったと考えられる。	〈成果と課題〉 ・男子は全国平均値を上回ったが、女子は全国平均値を上回ることができなかった。 ・運動場がせまく、休憩時間や学年体育の時間に十分に体を動かす場所や環境を整えられていないことが要因の一つと考えられる。

3 児童質問紙調査の結果及び分析

運動やスポーツをすることが好きな児童の割合			朝食を毎日食べる児童の割合			1週間の総運動時間が60分以上の児童の割合		
男子	全国	93.3	男子	全国	81.3	男子	全国	90.8
	自校	95.1		自校	92.7		自校	97.5
女子	全国	86.2	女子	全国	79.5	女子	全国	84.0
	自校	88.6		自校	85.7		自校	65.8
〈成果と課題〉 ・男女ともに、好きと答える児童の割合が高まり、全国平均を上回った。 ・年間を通して、運動会や陸上教室など、様々な行事等を通して運動への取組を定期的に取り組んだことが、効果的だったと考えられる。			〈成果と課題〉 ・男女ともに、朝食を毎日食べる児童の割合は、全国平均を上回った。 ・自校で行う生活リズムの調査において、睡眠時間だけでなく朝食に関する項目も毎学期取り入れていることで、朝食への啓発が定期的に行えていることが効果的だと考えられる。			〈成果と課題〉 ・男子は全国平均を上回ったが、女子は下回った。 ・1週間の運動時間が0分の児童も男子は2%、女子は14%も見られた。 ・外遊びを奨励するとともに、家庭とも連携し、児童の運動時間の確保に努めていく必要がある。		